

小学館
からの
お知らせ

1/3

速報

第70回

『小学館児童出版文化賞』 が決定いたしました。

受賞作

『うしとざん』

高畠那生 (たかばたけ・なお) / 作 小学館 / 刊

小学館は本日、第70回『小学館児童出版文化賞』の最終選考会を行い、
受賞作を『うしとざん』(高畠那生 / 作 小学館 / 刊)
に決定いたしました。

正賞としてブロンズ像「わかば」(笹戸千津子作)、副賞として賞金100万円が授与されます。

第70回 小学館児童出版文化賞



受賞作

『うしとざん』

高畠那生／作 小学館／刊

【概要】

「今日はこれからうしに登ります。どのうしにしようかな？」
男は無事「うしとざん」ができるのでしょうか。つかんで ぎゅ! つかんで ぎゅ! 短い前あしの毛をつかんで登ります。ようやくたどり着いたうしの背中には、なんとうしの群れが。そしてレンタサイクルや食堂もありました。
うしに登って下りてくる、なんともへんてこりんな脱力ストーリー。何度も読むうちに、なにか気になって手放せない、著者の魅力が詰まった絵本です。

【プロフィール】

1978年岐阜県山県市生まれ。東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。2003年『ぼく・わたし』（絵本館）で絵本作家としてデビュー。『カエルのおでかけ』（フレーベル館）で第19回日本絵本賞受賞。そのほかの絵本に『まってるまってる』（絵本館）、『バナナじけん』（BL出版）、『だるまだ!』、『まねきねこだ!!』（共に好学社）、『たとえばせかいがゴロゴロだったら』（講談社）、『みんなにゴリラ』（ポプラ社）、『そらから ほふ〜ん』（くもん出版）など多数。

【第70回小学館児童出版文化賞 選考経過】

今回は、2020年4月から2021年2月までに発表された、絵本（創作絵本・写真絵本など）、童話・文学（フィクション・詩・シナリオなど）、その他（ノンフィクション・科学絵本・図鑑・事典など）の出版物（翻訳・キャラクター・コミックスなどは除く）で、幼年ならびに少年少女に推薦したい優れた作品を対象として、事務局内に予選委員会を設け、選考にあたってまいりました。

選考に先立って、審査委員・作家・画家・写真家・各出版社・新聞社・児童文化団体・図書館・書店児童図書担当者・読者からの推薦を募りました。それに事務局が収集した作品を加えて予備選考を行った結果、以下の作品が今年度の候補作となりました。

これらの作品を、審査委員の荒井良二、今森光彦、鈴木のりたけ、富安陽子、森絵都（50音順）の5名の先生方にご審査いただき、9月9日の最終選考会におきまして、受賞作を決定いたしました。

第70回 小学館児童出版文化賞 候補作品

ジャンル	作品名	作者名	発行所	発行年月
読み物	あしたの幸福	いとうみく	理論社	2021年2月
読み物	イーブン	村上しいこ	小学館	2020年6月
読み物	キャンドル	村上雅郁	フレーベル館	2020年12月
読み物	スイマー	高田由紀子	ポプラ社	2020年7月
読み物	夜叉神川	安東みきえ	講談社	2021年1月
絵本	あるヘラジカの物語	鈴木まもる（文・絵） 星野道夫（原案）	あすなろ書房	2020年9月
絵本	うしとざん	高島那生	小学館	2020年12月
絵本	怪物園	junaida	福音館書店	2020年12月
絵本	たまごのはなし	しおたにまみこ	ブロンズ新社	2021年2月
絵本	ねこはるすばん	町田尚子	ほるぷ出版	2020年9月
絵本	やとのいえ	八尾慶次	偕成社	2020年8月

【小学館児童出版文化賞について】

「小学館児童出版文化賞」は、児童出版文化の向上に貢献すると認められる作品及び作家を毎年選定し顕彰するものです。

この賞は、1952年（昭和27年）に小学館の創業30周年を記念して、「小学館文学賞」「小学館絵画賞」として創設され、1996年（平成8年）から発展的に統合し改称いたしました。

未来を担う子どもたちのために、多くの優れた作品が出版されることを願います。この賞がそうした出版活動に少しでも寄与できればと考えます。